



札教生第 848 号

令和 6 年(2024 年)12 月 26 日

札幌市 P T A 協議会

会長 高原 周作 様

札幌市教育委員会

教育長 山根 直樹

(公印省略)

令和 7 年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

師走の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和 6 年 10 月 30 日付けで御提出いただきました標記の要望書につきまして、別紙のとおり御回答いたします。

札幌市PTA協議会

令和7年度「札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

: 所管課

要望内容	回 答
<p><b>【授業・学習について】</b></p>	
<p>欠席者のオンライン授業・リモート授業・chromebook の活用など IT の学校現場での活用について、より効果的に進めるための取り組みを希望します。</p> <p>また、各学校へ ICT 活用に関する支援員を配備するなど、サポート体制の充実を希望します。</p>	<p>個別対応が必要な児童生徒の学習支援につきましては、ICT を活用して積極的に実施する環境を整えており、当該児童生徒が学校とのつながりを感じたり、学びを進めたりすることができるように、本人や保護者と共通理解を図るよう努めております。具体的には、Google Classroom (掲示板機能) を活用した時間割、連絡事項の共有やメッセージのやりとり、Meet (ビデオ通話) を活用した別室登校の児童生徒に対する授業配信等の取組を行っており、今後も継続してまいります。</p> <p>学校へのサポート体制につきましては、GIGA スクール構想前から設置している情報教育支援デスク (サポートデスク) に加え、1人1台端末に関するサポートを行う GIGA スクールサポートデスクを令和3年度より設置しております。サポートデスクでは、不具合が起こった際の対応だけでなく、ICT 機器や各種サービスの利用方法について電話やメールでの問い合わせが可能となっており、遠隔操作でのサポートの他、必要に応じて現地での対応を行っております。また、ICT 支援員につきましては、予算の確保に向けて、他自治体での導入効果にかかる調査等を行っているところであり、配置に向けて継続して取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">学校支援課、教育課程担当課、教育相談担当課</p>
<p><b>【教職員について】</b></p>	
<p>教職員が、子どもたち一人ひとりと向き合う時間を確保できるように、教職員の増員・加配・専任教師の配置を希望します。</p>	<p>教職員の負担を軽減し、専門性の高い指導を充実させるため、小学校専科指導の加配を拡充しております。</p> <p>また、少人数学級の拡大についても、子ども一人ひとりに合ったきめ細かな指導を行う上で有効であると認識しており、令和7年度までに小学校全学年へ拡大してまいります。</p> <p>更なる教職員の増員や少人数学級の拡大につきましては、今後も様々な機会を通じて、国に要望してまいります。</p> <p><b>【参考情報】</b></p> <p>小学校専科指導に係る加配定数の推移</p> <p>R04年度：156人</p> <p>R05年度：175人</p> <p>R06年度：196人</p> <p style="text-align: right;">教職員課</p>

<p><b>【特別支援・通級指導教室について】</b></p>	
<p>子ども一人ひとりの特性に応じた柔軟な支援ができるように、専門的な知識を持った教職員の増加と配置を希望します。</p>	<p>今年度より「新任管理職研修」における特別支援教育に関する講座の新設や、「教職経験に応じた研修」における段階的な研修内容の設定、各校の校内研修への特別支援教育の専門家派遣など、世代や校内外問わず学ぶことのできる環境を整え、教職員の実践的指導力や専門性の向上に努めているところです。</p> <p>人事配置においては、年齢や性別のバランス、個人の能力・経験や希望など、様々な事情を考慮のうえ全市的な視点で行っておりますが、特別支援・通級指導教室においても、適材適所の人事配置が行われるよう引き続き検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教職員課、教職員育成担当課</p>
<p><b>【支援専門スタッフについて】</b></p>	
<p>今年度より導入されたアプリにより、スクールカウンセラーへの相談希望の増加が予想されるため、増員や勤務時間数の増加を希望します。</p> <p>また、中学校では相談の予約が取れないとの声が多いことから、重点的な配置を希望します。</p>	<p>一部の学校においては、スクールカウンセラーへの相談の予約が取りにくい状況があると認識しております。</p> <p>人材及び予算の確保について、引き続き努めてまいります。</p> <p>また、スクールカウンセラーを含めた学校の教育相談体制がより充実するよう、引き続き取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">児童生徒担当課</p>
<p><b>【いじめについて】</b></p>	
<p>「相談窓口周知カード」について、いじめに対する周知を徹底するためにも小学校3年生以下についても対象とすることを希望します。</p>	<p>相談窓口の周知は、児童生徒が不安や悩みをもったときに、信頼できる大人への相談を促す目的で実施しているものです。小学校3年生以下の児童についても、困ったときに援助を求めていくことができる資質を身に付けていくことは大変重要なことと認識しております。</p> <p>具体的な周知内容、方法等について、3年生以下の発達の段階も踏まえ、検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">児童生徒担当課</p>
<p><b>【学校設備について】</b></p>	
<p>子どもたちの熱中症に対する危機感と教職員の労働環境の改善の観点から、可能な限り前倒しでのエアコン設備工事の実施を希望します。</p> <p>また、全校設置完了に向けた学校ごとの具体的な設備工事計画の提示を希望します。</p>	<p>小学校を含む市立学校約300校への常設エアコンの整備は、機器本体の設置だけではなく、電気容量の改修も必要です。昨今の建設業界の人手不足も影響し、全ての学校を一斉に整備することが困難であるため、令和9年度までに段階的に整備を行う予定となっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、学校ごとの具体的な整備計画につきましては、各校の設備状況や全体の作業進捗等を踏まえて随時調整、見直しをしていくこととなりますが、学校との情報共有は密にしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">学校施設課</p>

### 【幼稚園について】

「研究実践園」として、質の高い幼児教育の推進に取り組み小学校教育につながる市立幼稚園の存続を希望します。

市立幼稚園は、幼稚園教育要領が示す幼児教育を着実に実践し、小学校教育に繋がる資質・能力の基盤を育ててまいります。

また、研究実践園として、地域の幼児教育施設の拠点となり、私立園等に対する専門的知見やノウハウの提供、私立園等と小学校をつなげる結節点としての役割をもつなど、重要な役割を担っていると認識しております。

今後も、幼児教育センターと一体となって札幌市の幼児教育の振興を図るとともに、地域の実情や保護者のニーズを踏まえたより良い体制を維持・構築できるよう努めてまいります。

幼児教育担当課

### 【部活動について】

中学校の部活動の情報を小学校と共有するとともに、近隣中学校同士の部活動連携の拡充を希望します。

札幌市立学校においては、部活動の適正な運営を図り、保護者、地域の理解を促進させるため、校長が部活動に係る活動方針を策定して、学校ホームページに掲載することとしております。

また、個別の学校の状況につきましては、中学校の入学に際して実施される、小学校6年生の家庭を対象とした新入学説明会などにおいてお問い合わせいただきますようお願いいたします。

このほか、中学校の小規模化等により、各学校における部活動の設置数が減少していることから、複数校合同チームの結成や、生徒が他校の運動部活動に参加することができる「学校間連携方式」を引き続き実施するなど、生徒の活動機会の確保を第一に考え、必要に応じた対応を支援してまいります。

児童生徒担当課

### 【図書について】

学校図書館の蔵書充実や、小学校への学校司書の配置など、子どもの読書環境と読書活動を更に充実させる取組を希望します。

学校図書館の蔵書は、文部科学省が学級数に応じた定めた学校図書の標準数に基づき整備しており、毎年度図書購入に必要な費用を学校に配分しております。

また、PTAを中心に地域の皆様に運営に携わっていただく学校図書館地域開放事業においては、図書購入費など必要な経費を委託料に含んでおり、子どもの読書環境の充実に活用いただいております。

併せて、中学校への学校司書の配置において、環境整備、読書の促進、学習準備や授業支援の一層の充実など、様々な成果が見られていることから、小学校についても学校司書を配置する必要があると考えております。そのため、今年度は、中学校に勤務する学校司書を小学校に派遣するモデル事業を3校において実施し、小学校への学校司書配置の効果検証を行っております。

	<p>今後も、学校図書館を効果的に活用しながら、子どもの読書環境と読書活動を更に充実させる取組や予算の確保に努めてまいります。</p> <p>生涯学習推進課、学校支援課、教育課程担当課</p>
<p>【その他について】</p>	
<p>PTA 活動周知に係る各校のすぐーる利用に向けたガイドライン等のルール作りを希望します。</p>	<p>「すぐーる」は、学校から保護者への連絡を行うツールとして導入しておりますが、各校の円滑なPTA活動のため、PTA 役員の方々の連絡ツールとしても利用いただいております、学校長又は園長が認める場合には、PTA 役員の方をチャンネルの運用ができる「サポート要員」と位置付け、活用いただいております。</p> <p>また、各校においては、PTA 活動に参加できない事情をお持ちの家庭への配慮、保護者がメッセージを受信する頻度への配慮等、学校の実態に応じた運用を行っております。そのため、PTA 活動に限定した一律のルールを作成することは難しいと考えておりますが、全市での稼働開始から半年が経過し、各校でどのような内容を配信すべきかを検討する時期にもあると認識しておりますので、各校における今後の運用については、継続して検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">学校支援課</p>